

## ご挨拶



5月27日に行われた理事会におきまして、藤原前会長の後任として、耐火物協会会長を拝命いたしました。戦後の設立から76年を超える歴史ある耐火物協会を皆さまとともにさらに発展させられるよう、新たな心持ちで尽力する所存です。

さて、今回2020年以来再度の会長就任となりますが、至近4年間で世界情勢は種々混迷を深めました。コロナ禍が終息した現在に至っても、我が国製造業を取り巻く事業環境は依然不安定で不透明な要素を多く含んでおります。ウクライナや中東での紛争の長期化や、昨年来の中国経済の低迷とそれにともなうアジア圏での需要低迷および急激な円安の進行など、鉄鋼需要や原燃料の海外調達への依存度の高い耐火物業界においては収益確保に向けてチャレンジングな課題が数多くあります。

また、このようなグローバルな変化への対応に加え、我が国の社会・経済環境を見ると、我々業界の将来を考えるうえで避けて通れない本質的課題も待ち構えています。労働力人口の減少とそれを補完するための世代間の技能伝承や自動化への取り組み、地球環境負荷軽減に貢献すべくカーボンニュートラルを意識した耐火物や築炉分野での製品開発や生産プロセスの更新などが特に重要性の高いものとして挙げられます。

しかしながら、耐火物産業は、鉄鋼業やセメント業をはじめとする製造業に欠かせない材料・エンジニアリング技術の提供者であり、ひいては、人々が社会生活を営むうえで必需となる自動車、セメント、ガラス、各種構造物、ごみ処理設備等を支える「なくてはならない基礎産業」としての使命を持っていると認識しております。

今後とも、会員皆さまの共通課題である「安全・環境・防災」への取り組みを協会一体となって推進していくとともに、コンプライアンスを徹底しつつ、協会の活性化に資するべく国内外の有益な情報の共有を図り、皆さまのお役に立てるよう努力して参りたいと存じます。皆さまからの忌憚なきご意見をうかがい、協会活動に改善を積み重ねて参る所存です。さらなるご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げますとともに、会員皆さまのご健勝を祈念して私のご挨拶とさせていただきます。

2024年6月吉日

耐火物協会会長 江川和宏  
Kazuhiro Egawa